

目 次

巻頭言

第 1 部 社会福祉行政と貧困

- 1 章 社会福祉事業の法的再構築 鵜沼 憲晴 3
—社会福祉事業を構成する6要素に焦点をあてて
- 2 章 生活保護行政における自立支援の到達点と課題 戸田 典樹 19
—伝統的自立支援を克服し新しい自立支援の確立を目指して
- 3 章 ワークフェアか所得保障か 武藤 敦士 45
—女性労働者問題から考える母子世帯の貧困
- 4 章 「子どもの貧困」の問題点と対策 田中 聡子 62
- 5 章 “人を人として” 大阪市西成区「こどもの里」の営為 竹之下 典祥 81
—子どもがもつ主体性と福祉実践教育の可能性を信じて

第 2 部 障害者の自立支援と課題

- 6 章 障害年金給付のあり方と精神障害者の生きづらさ 青木 聖久 97
—近年における障害年金の不支給や支給停止への対峙として
- 7 章 障害年金に関する日中韓比較研究 磯野 博 113
—障害者に対する保護雇用との関連から
- 8 章 社会開発政策におけるコロニー 船本 淑恵 132
—障害者の地域移行政策との関連において

- 9章 機能的で自発的なコミュニケーションの支援を考える 門 道子 151
 —自閉症児の自立に向けて

第3部 高齢者福祉の論点と課題

- 10章 「高齢者福祉」教育の現状と課題 権 順浩 175
 —日本社会福祉教育学校連盟会員校のシラバス分析を中心に
- 11章 社会福祉士養成課程における高齢者福祉分野科目の位置づけ 森田 靖子 195
 —国家試験問題からの一考察
- 12章 医療制度改革は高齢者に何をもたらしたか 湯川 順子 210
 —2000年以降を中心に
- 13章 特別養護老人ホームのサービスは利用者主体となりえているのか 大友 芳恵 226
 —措置制度から介護保険への制度変化のなかで
- 14章 韓国における認知症高齢者支援システムの現状と課題 李 栖瑛 246
 —日本における認知症高齢者への支援システムとの比較を通して
- 終章 社会福祉研究・教育の歩み 大友 信勝 257
 —自分史を中心として

大友信勝先生 略歴